



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	10,293	14.1	1,254	24.7	1,262	24.0	737	32.7
30年3月期第1四半期	9,022	14.1	1,005	26.0	1,017	27.1	1,096	148.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 707百万円 (35.3%) 30年3月期第1四半期 1,092百万円 (157.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	37.19	
30年3月期第1四半期	54.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,783	14,307	68.8
30年3月期	20,651	13,798	66.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,307百万円 30年3月期 13,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		10.00	17.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		9.00		13.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,624	11.8	2,255	7.9	2,255	6.3	1,465	21.7	73.84
通期	42,600	12.1	4,602	9.8	4,608	9.0	2,903	13.9	146.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	20,060,000 株	30年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	220,559 株	30年3月期	220,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	19,839,441 株	30年3月期1Q	20,057,774 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあります。米国での新たな政策による影響をはじめ、欧州経済や新興国経済の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成30年6月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.62倍と、前月を0.02ポイント上回り、また、総務省が発表した平成30年6月の完全失業率(季節調整値)についても、2.4%と、前月を0.2%上回るなど、雇用環境は改善を続けております。

当社グループは、中核である「人材サービス事業」の他、「CRO事業」・「受託研究・製造事業」・「インタラクティブ事業」の4つの領域において事業を展開し、それを支援する領域として「グループ戦略補助事業」があり、22社の子会社で構成されております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、平成30年5月に郡山支店、金沢支店、同6月に館林支店を新規開設し、全国80拠点体制としております。また、経営効率を高める為、平成30年4月1日付で、登録型派遣事業を展開するWDB株式会社を存続会社として、新卒者の常用雇用派遣事業を展開するWDBエウレカ株式会社を吸収合併し、WDBエウレカ株式会社は、新たに「WDB株式会社 エウレカ社」として、理学系分野における新卒常用雇用派遣を行っています。更に、技術者の新卒者を対象として常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社についても、全国にスタッフを派遣しており、順調に業容を拡大しております。

「CRO事業」につきましては、当社グループとして「人材サービス事業」に次ぐ第2の収益の柱として注力しております事業領域であり、国内4社、海外7社の計11社で事業を行っております。国内においてはWDBアイシーオー株式会社が、海外においてはOy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)の業績が順調に推移しておりますとともに、他の子会社においても、それぞれの強みを活かした事業展開を行っております。

「研究開発・製造事業」につきましては、現在子会社3社で構成されており、各社とも業績は堅調に推移しております。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10,293百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

営業利益につきましては、1,254百万円と前年同期と比べ248百万円(前年同期比24.7%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、1,262百万円と前年同期と比べ244百万円(前年同期比24.0%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に固定資産売却益945百万円があった影響により、737百万円と前年同期と比べ358百万円(前年同期比32.7%減)の減益となりました。

セグメントの業績につきましては、下記の通りとなっております。

①人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、9,226百万円と前年同期と比べ821百万円(前年同期比9.8%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、1,279百万円と前年同期と比べ205百万円(前年同期比19.1%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことによる影響のほか、Oy Medfiles Ltd.(メドファイルズ社)及び株式会社コーブリッジの連結子会社化の影響もあり、売上高は870百万円と前年同期と比べ500百万円(前年同期比135.4%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、35百万円と前年同期と比べ12百万円(前年同期比55.4%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

当セグメントの売上高は、195百万円と前年同期と比べ51百万円(前年同期比20.9%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は18百万円と前年同期と比べ7百万円(前年同期比29.4%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、主としてその他の流動資産の増加により、総資産は20,783百万円となり、前連結会計年度末と比較して131百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払法人税等の減少により6,476百万円となり、前連結会計年度末と比較して377百万円の減少となりました。また、純資産は14,307百万円となり、前連結会計年度末と比較して508百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

なお、当社では今年度より、剰余金の配当に関する方針について新たに定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,908,229	10,617,444
受取手形及び売掛金	4,877,054	5,176,717
商品及び製品	10,087	11,303
仕掛品	49,095	40,906
原材料及び貯蔵品	123,277	137,012
その他	188,452	499,843
貸倒引当金	△1,194	△392
流動資産合計	16,155,002	16,482,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,601,926	1,587,279
土地	875,722	875,722
その他(純額)	248,221	241,254
有形固定資産合計	2,725,870	2,704,256
無形固定資産		
のれん	416,463	380,117
その他	29,109	35,571
無形固定資産合計	445,572	415,688
投資その他の資産		
投資その他の資産	918,241	919,519
繰延税金資産	445,666	299,875
貸倒引当金	△38,407	△38,801
投資その他の資産合計	1,325,501	1,180,593
固定資産合計	4,496,944	4,300,538
資産合計	20,651,946	20,783,373
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,894,078	2,150,551
未払法人税等	1,082,355	284,709
賞与引当金	506,866	457,391
その他	2,573,763	2,758,279
流動負債合計	6,057,064	5,650,932
固定負債		
役員退職慰労引当金	391,884	397,767
退職給付に係る負債	135,877	141,718
資産除去債務	112,914	115,750
その他	155,638	169,850
固定負債合計	796,314	825,088
負債合計	6,853,379	6,476,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	13,209,120	13,748,522
自己株式	△742,919	△742,919
株主資本合計	13,684,225	14,223,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,486	32,459
為替換算調整勘定	66,668	42,985
退職給付に係る調整累計額	8,187	8,280
その他の包括利益累計額合計	114,341	83,725
純資産合計	13,798,567	14,307,353
負債純資産合計	20,651,946	20,783,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,022,866	10,293,230
売上原価	6,750,192	7,641,832
売上総利益	2,272,674	2,651,398
販売費及び一般管理費	1,266,834	1,397,030
営業利益	1,005,839	1,254,368
営業外収益		
受取配当金	390	440
助成金収入	9,800	1,116
還付加算金	12	419
受取保険金	1,111	181
固定資産税還付金	-	8,551
雑収入	3,399	4,122
営業外収益合計	14,712	14,832
営業外費用		
為替差損	294	759
消費税差額	75	4,328
雑損失	2,404	2,073
営業外費用合計	2,775	7,161
経常利益	1,017,777	1,262,038
特別利益		
固定資産売却益	945,015	266
事業譲渡益	-	11,824
特別利益合計	945,015	12,090
特別損失		
固定資産除却損	378	29
特別損失合計	378	29
税金等調整前四半期純利益	1,962,414	1,274,100
法人税、住民税及び事業税	783,976	388,614
法人税等調整額	81,800	147,689
法人税等合計	865,776	536,304
四半期純利益	1,096,637	737,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096,637	737,796

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,096,637	737,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,855	△7,026
為替換算調整勘定	△11,228	△23,682
退職給付に係る調整額	415	93
その他の包括利益合計	△3,957	△30,615
四半期包括利益	1,092,679	707,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092,679	707,180
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,405,653	369,905	8,775,559	247,307	9,022,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,583	—	5,583	—	5,583
計	8,411,236	369,905	8,781,142	247,307	9,028,450
セグメント利益	1,073,764	22,966	1,096,731	26,546	1,123,277

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,096,731
「その他」の区分の利益	26,546
全社費用(注)	△117,438
四半期連結損益計算書の営業利益	1,005,839

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd.及び新たに株式を取得した株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において470,296千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,226,702	870,829	10,097,531	195,698	10,293,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,331	0	6,331	0	6,331
計	9,233,034	870,829	10,103,863	195,698	10,299,562
セグメント利益	1,279,374	35,700	1,315,075	18,752	1,333,827

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,315,075
「その他」の区分の利益	18,752
全社費用(注)	△79,459
四半期連結損益計算書の営業利益	1,254,368

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 結合企業の名称及び当該事業の内容

結合企業名称 : WDB株式会社

事業の内容 : 人材派遣サービス、人材紹介サービス事業

被結合企業名称 : WDBエウレカ株式会社

事業の内容 : 理学系研究職の派遣サービス事業

(2) 企業結合日

平成30年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

WDB株式会社を存続会社、WDBエウレカ株式会社を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

名称 : WDB株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

理学系研究職の常用雇用型派遣事業を展開するWDBエウレカ株式会社を、WDB株式会社に統合して経営を効率化し、当社グループの持続的な成長と企業価値の最大化を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。